



令和6年度柏市国民健康保険特別会計決算見込及び 令和7年度保険料の本算定の状況等について

健康医療部 保険年金課



目次

- 1 令和6年度決算見込等 p2~10
- 2 令和7年度本算定の状況 p11~17
- 3 粗い将来推計（更新） p19~22
- 4 子ども・子育て支援金制度 p23~25



1 令和6年度決算見込等

- 1－① 令和6年度決算見込（歳入）
- 1－② 令和6年度決算見込（歳出）
- 1－③ 令和6年度決算見込（収支）
- 1－④ 令和6年度決算見込（保険料収入の状況）
- 1－⑤ 国保会計における収支の推移
- 1－⑥ 国保財政調整基金の推移（取崩額・積立額・期末残高）
- 1－⑦ 令和6年度決算見込（総括その1）
- 1－⑧ 令和6年度決算見込（総括その2）

1-① 令和6年度決算見込（歳入）



[単位:百万円]

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③=①+②	決算見込 ④	差引額 ⑤=④-③	執行率 ⑥=④/③
1. 保険料	8,077	0	8,077	8,215	137	101.70%
2. 国・県支出金	26,677	▲2,039	24,638	24,203	▲435	98.23%
3. 繰入金	4,088	600	4,688	4,148	▲540	88.49%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,555	78	2,633	2,543	▲90	96.60%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	600	600	600	0	100.00%
【再掲】基金繰入金	1,532	▲78	1,455	1,005	▲450	69.06%
4. 繰越金	0	39	39	39	0	100.00%
5. その他の収入	84	0	84	135	51	160.18%
歳入合計(A)	38,926	▲1,400	37,526	36,739	▲787	97.90%

※表中の数値は、単位未満で四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

1-② 令和6年度決算見込（歳出）

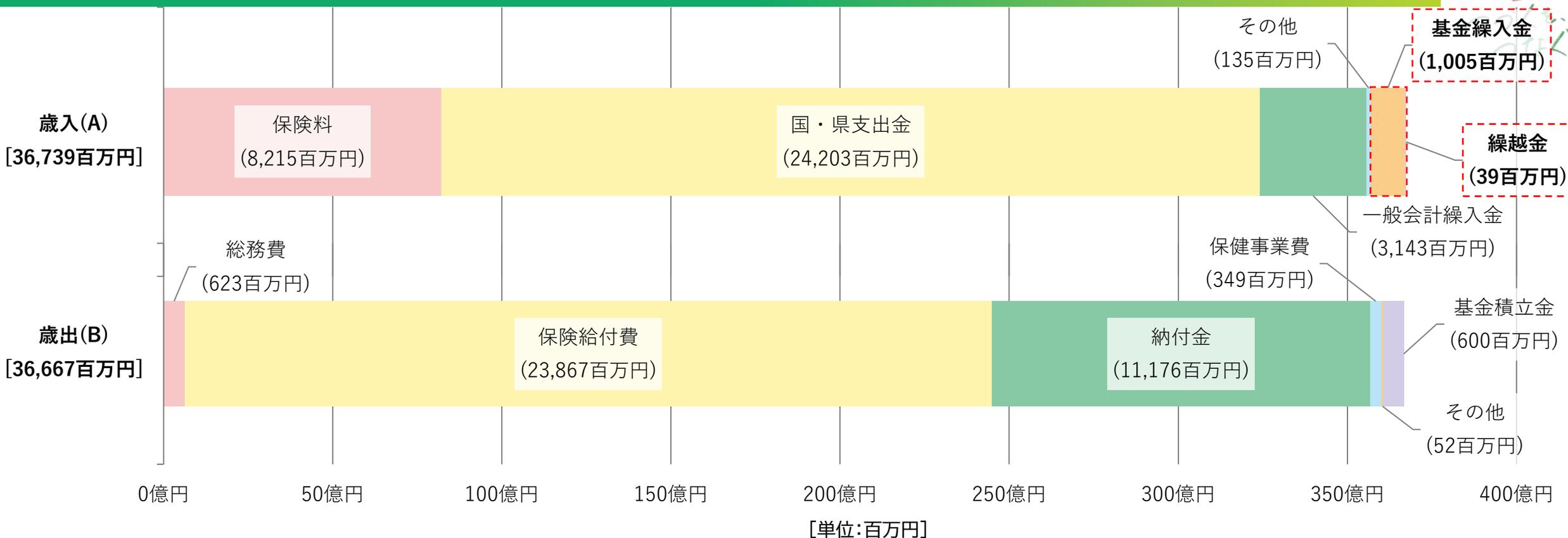


[単位:百万円]

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③=①+②	決算見込 ④	差引額 ⑤=④-③	執行率 ⑥=④/③
1. 総務費	699	0	699	623	▲76	89.12%
2. 保険給付費	26,295	▲2,000	24,295	23,867	▲428	98.24%
3. 国民健康保険事業費納付金	11,176	0	11,176	11,176	0	100.00%
【再掲】医療分	7,388	0	7,388	7,388	0	100.00%
【再掲】後期高齢者支援金分	2,844	0	2,844	2,844	0	100.00%
【再掲】介護納付金分	944	0	944	944	0	100.00%
4. 保健事業費	492	0	492	349	▲143	70.97%
5. その他の支出	264	600	864	652	▲212	75.43%
【再掲】基金積立金	0	600	600	600	0	100.00%
歳出合計(B)	38,926	▲1,400	37,526	36,667	▲859	97.71%

※表中の数値は、単位未満で四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

1-③ 令和6年度決算見込（収支）



区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③=①+②	決算見込 ④
収支差額 [= 歳入(A) - 歳出(B)]	0	0	0	72
基金繰入金及び繰越金を除く収支	▲1,532	39	▲1,493	▲972

令和6年度の収支差額は**72百万円**を見込んでいる。
 ただし、歳入から基金繰入金及び繰越金（グラフ中破線赤枠部分）を除いた場合の歳入(A)は、歳出(B)を割り込んでおり、実質的な財政収支は**▲972百万円**の赤字となる見込み（前年度比825百万円改善見込）。

※グラフ及び表中の数値は、単位未満で四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

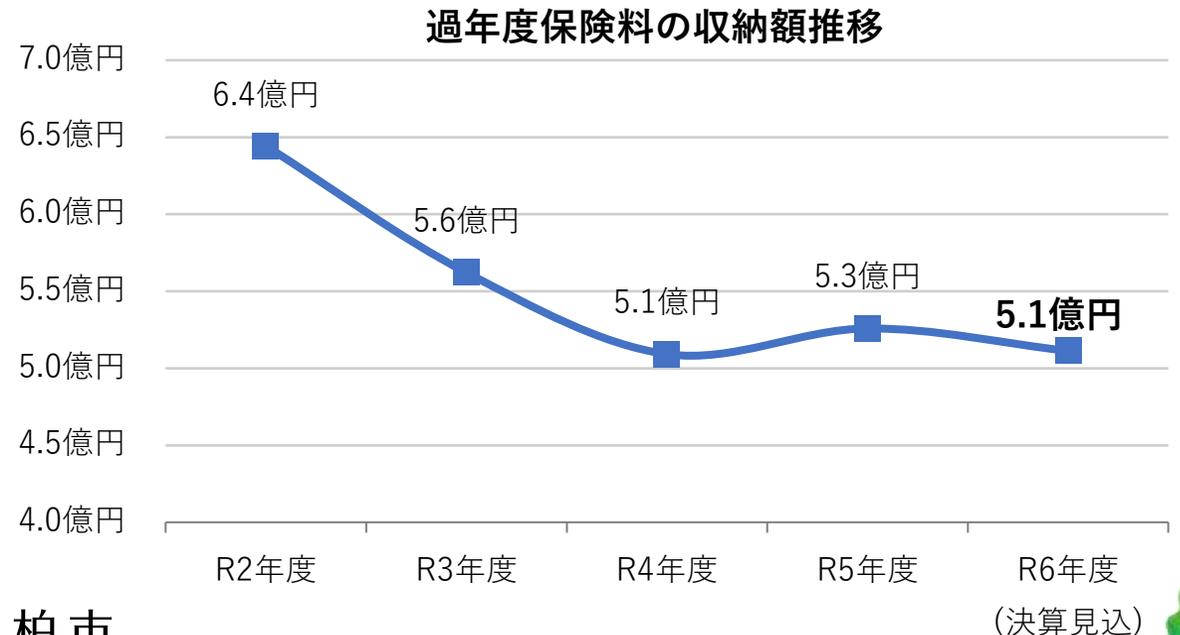
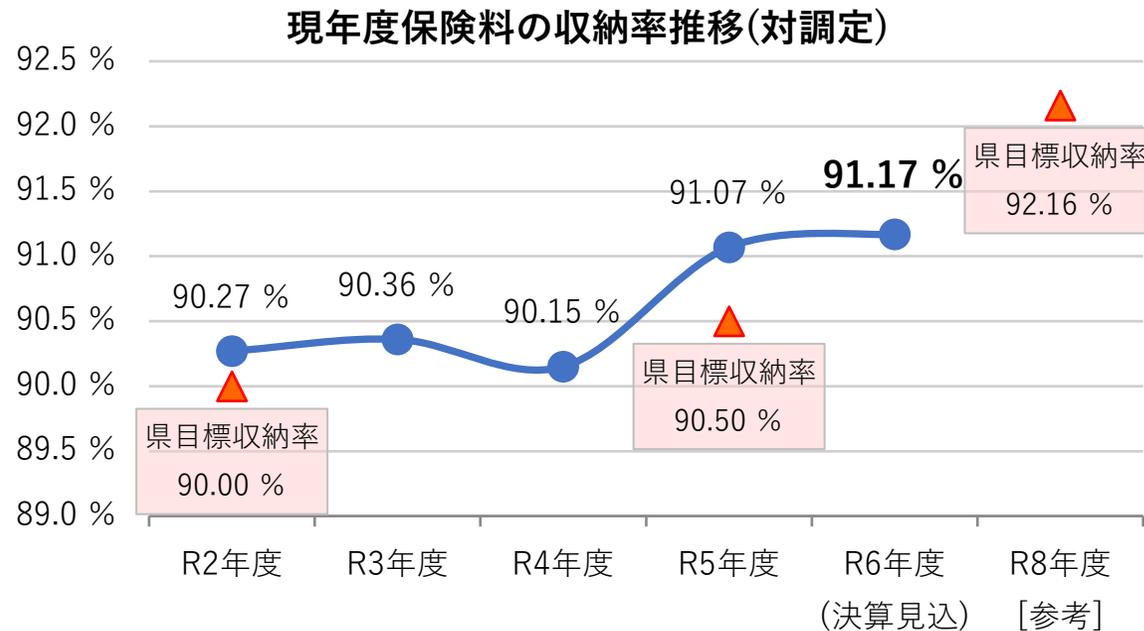
1-④ 令和6年度決算見込（保険料の収納状況）



1. 現年度・過年度保険料の対予算収納率は、1.9ポイント上昇（R5決算：99.80% ⇒ R6見込：101.70%）。
2. 過年度保険料の収納額は、現年度収納率が向上することで減少傾向にある。
3. 収納率向上のため、令和6年度から新たに自動架電システム導入と預貯金照会業務の電子化を実施した。

現年度・過年度保険料収納額の状況	当初予算 ①	収入済額 ②	差額 ③=②-①
令和5年度	7,787,674千円	7,771,753千円	▲ 15,921千円
令和6年度	8,076,301千円	8,213,821千円	137,520千円
令和6年度(R5年度と同じ収納率の場合)	8,076,301千円	8,060,148千円	▲ 16,153千円

収納率向上による形式収支への貢献額は
約1.5億円

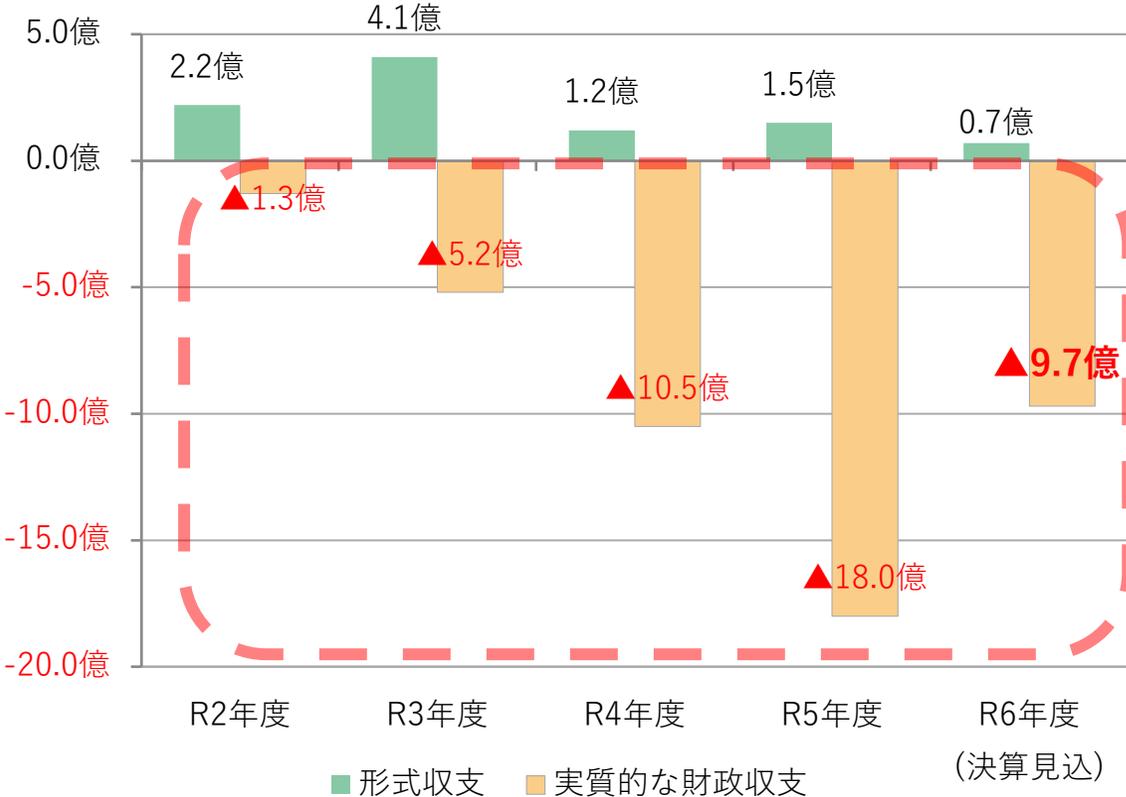


1-⑤ 国保会計における収支の推移

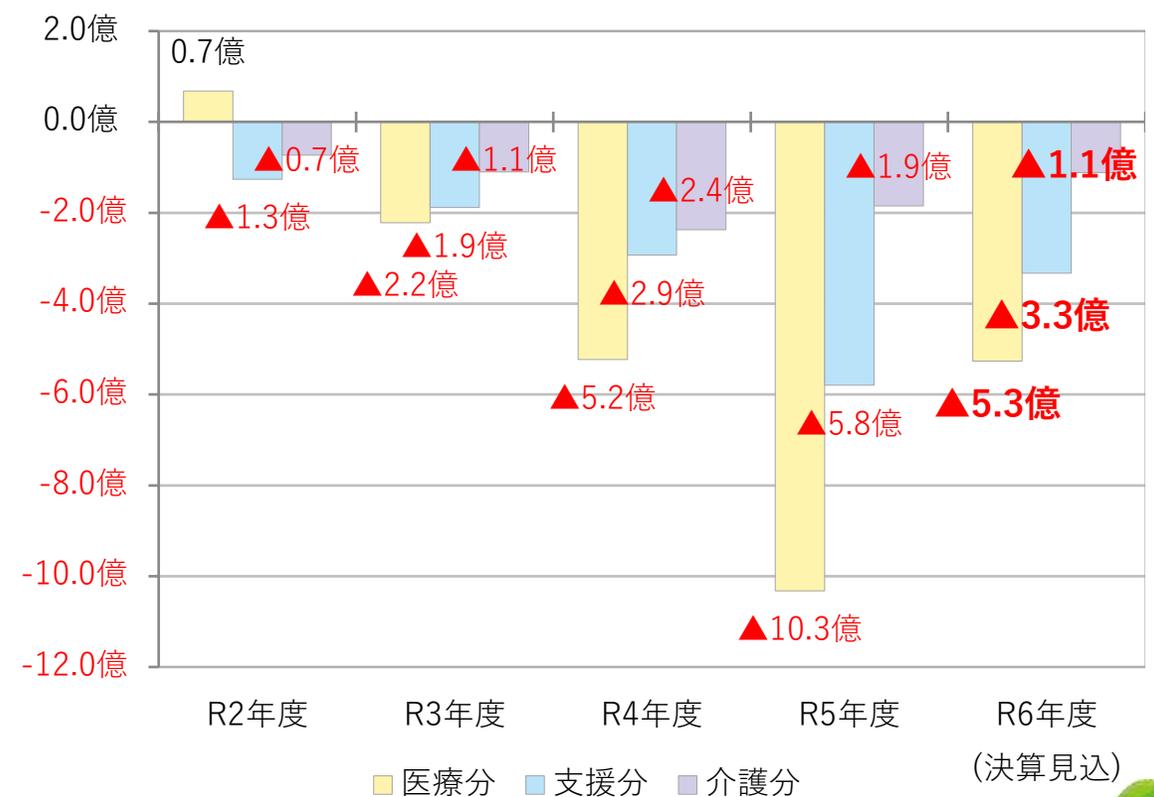


1. 実質的な財政収支は▲9.7億円の赤字であるが、令和5年度比で8.3億円の改善見込。
(R5決算：1,797百万円 ⇒ R6見込：972百万円)
2. 国民健康保険事業財政調整基金から10.1億円を繰り入れることで形式収支を黒字化。

収支の推移



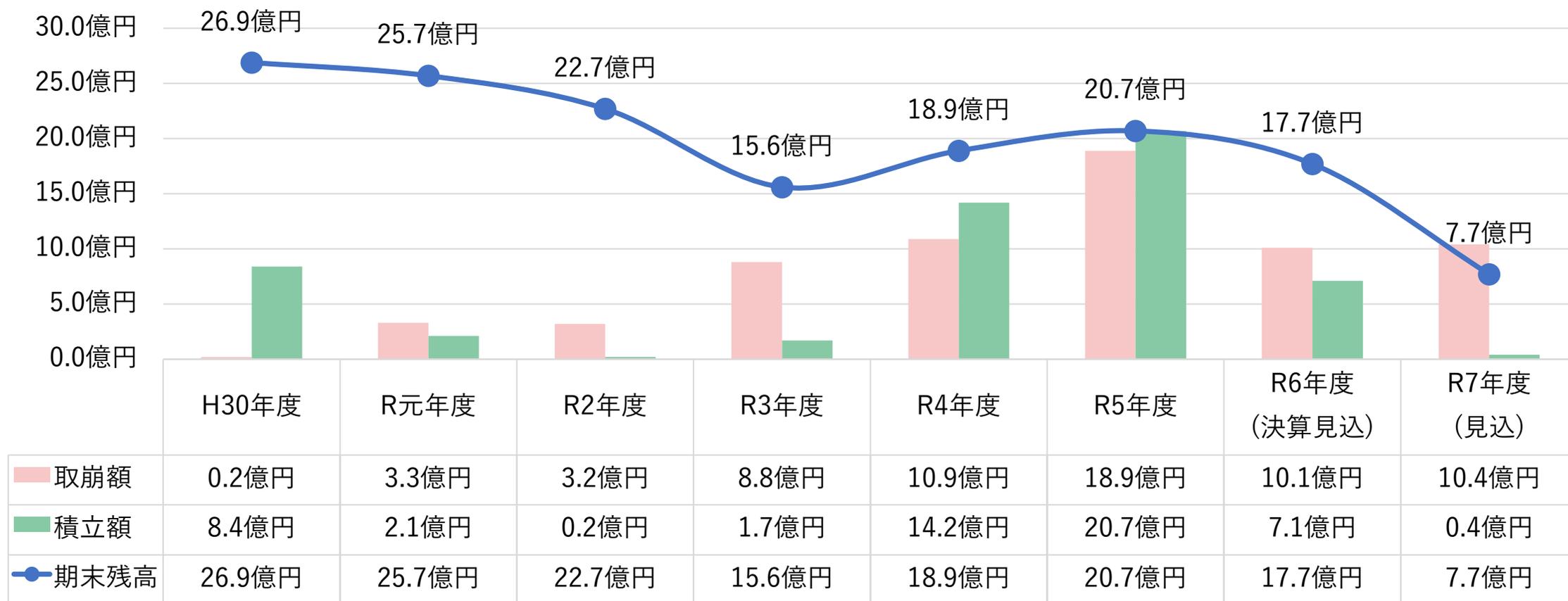
実質的な財政収支の内訳



1-⑥ 国保財政調整基金の推移（取崩額・積立額・期末残高）



- 令和6年度の基金取崩額は、決算見込みで10.1億円（保険料収入増などの影響により予算比▲4.5億円）。
- 令和6年度形式収支の半額（36百万円）を積み立てたため、現時点の基金残高は約18.1億円の見込み。
- 令和8年度予算編成時における基金使用可能額は、7.7億円の見込み（R7年度に一般財源から繰り入れない場合）。

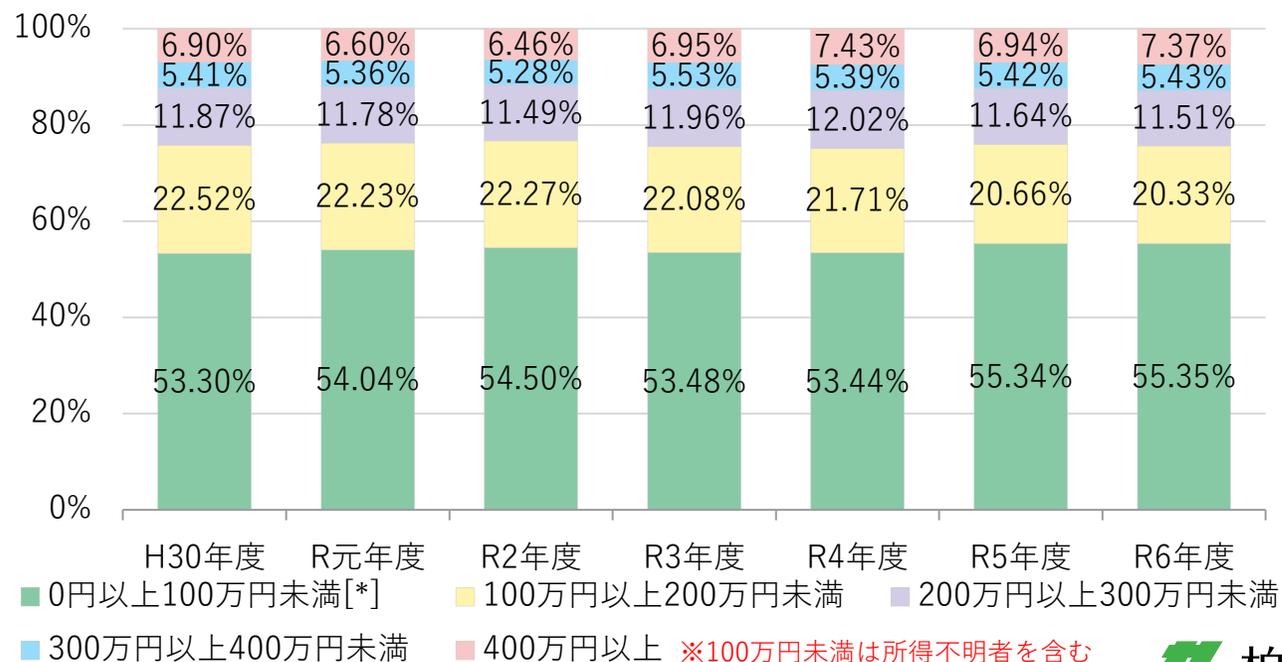


1-⑦ 令和6年度決算見込（総括その1）

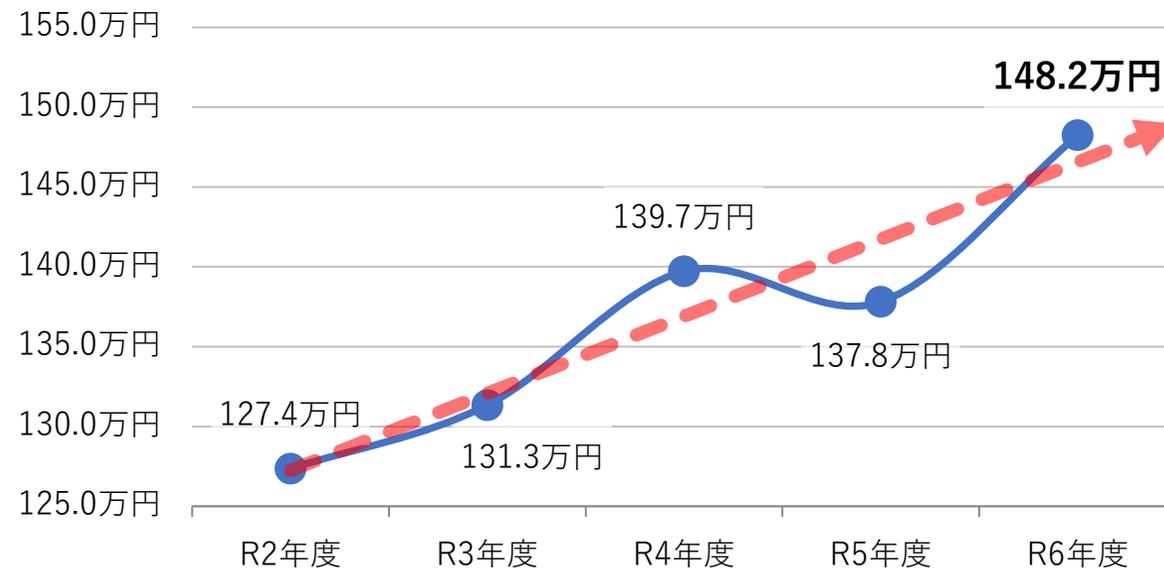


1. 基金取崩額は、予算比約4.5億円の減（R6予算：1,455百万円 ⇒ R6見込：1,005百万円）。
⇒内訳：保険料収入1.4億円，保健事業費0.4億円，予備費2.0億円，その他0.7億円
2. 保険料収納額は、予算比約1.4億円の増（R6予算：8,076百万円 ⇒ R6見込：8,214百万円）。
 - ① 現年度収納率0.1ポイント上昇（R5決算：91.07% ⇒ R6見込：91.17%）
 - ② 被保険者（所得割賦課対象者）一人当たり所得が10.4万円(7.0%)増（R5決算：137.8万円 ⇒ R6見込：148.2万円）
⇒100万円以上400万円未満の世帯が0.45ポイント減少し，400万円以上の世帯が0.43ポイント上昇。
3. 予備費（2億円）は、感染症の流行など不測の事態の発生がなく執行しなかった。

所得階層別の構成推移(国保加入者)



所得割賦課対象者の所得推移(一人当たり)



1-⑧ 令和6年度決算見込（総括その2）



1. 一人当たり保険料は、所得増により予算を上回った（R6予算：109,893円 ⇒ R6見込：111,369円）。
2. 標準保険料との乖離は、6,158円減少した（R5決算：28,534円 ⇒ R6見込：22,376円）。
3. 決算見込時点の一人当たり保険料は、比較的保険者規模の近い他市と同程度であった。

市町村名	被保険者数 ※各市百単位を 四捨五入	令和5年度 標準保険料 (A)	令和5年度決算		令和6年度 標準保険料 (D)	令和6年度当初予算		令和6年度決算(見込)			
			1人当たり 保険料 (B)	乖離幅 (C) = (B) - (A)		1人当たり 保険料 (E)	乖離幅 (F) = (E) - (D)	1人当たり 保険料 (G)	順位	乖離幅 (H) = (G) - (D)	順位
I市	24,000人	152,390円	119,535円	▲ 32,855円	155,510円	126,928円	▲ 28,582円	129,687円	1	▲ 25,823円	6
A市	161,000人	124,954円	109,461円	▲ 15,493円	128,792円	110,424円	▲ 18,368円	113,973円	2	▲ 14,819円	1
G市	24,000人	122,510円	104,506円	▲ 18,004円	126,145円	106,510円	▲ 19,635円	110,662円	6	▲ 15,483円	2
F市	29,000人	129,232円	103,938円	▲ 25,294円	135,272円	103,399円	▲ 31,873円	107,397円	7	▲ 27,875円	7
D市	90,000人	126,929円	100,791円	▲ 26,138円	130,796円	104,698円	▲ 26,098円	111,664円	4	▲ 19,132円	3
柏市	75,593人	128,884円	100,350円	▲ 28,534円	133,745円	109,893円	▲ 23,852円	111,369円	5	▲ 22,376円	4
B市	80,000人	133,326円	99,750円	▲ 33,576円	146,086円	110,695円	▲ 35,391円	111,752円	3	▲ 34,334円	10
C市	101,000人	129,692円	98,743円	▲ 30,949円	132,797円	106,104円	▲ 26,693円	107,136円	8	▲ 25,661円	5
H市	20,000人	125,210円	94,609円	▲ 30,601円	129,313円	93,144円	▲ 36,169円	97,065円	9	▲ 32,248円	9
E市	31,000人	123,142円	86,812円	▲ 36,330円	125,426円	88,792円	▲ 36,634円	93,522円	10	▲ 31,904円	8



2 令和7年度 本算定の状況

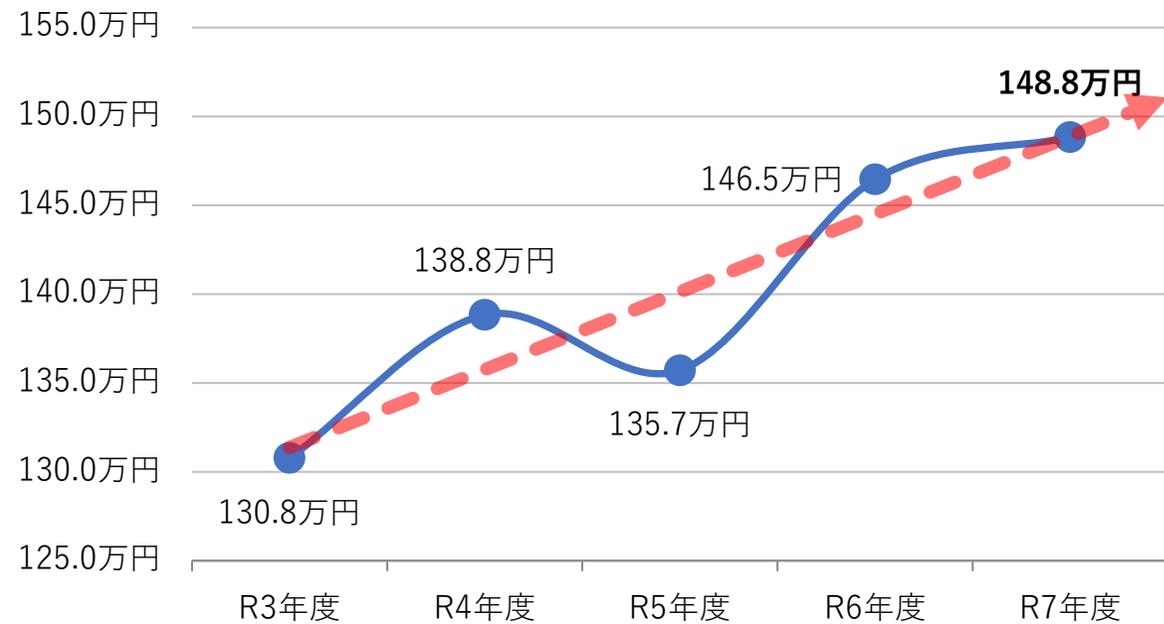
- 2－① 一人当たり保険料調定額と所得の推移（令和7年度本算定時）
- 2－② 国保における医療費の動向
- 2－③ 保険料率の推移
- 2－④ 【参考】 令和7年度の年間保険料比較（ケース1）
- 2－⑤ 【参考】 令和7年度の年間保険料比較（ケース2）
- 2－⑥ 【参考】 令和7年度の年間保険料比較（ケース3）

2-① 一人当たり所得と保険料調定額の推移 (令和7年度本算定時)

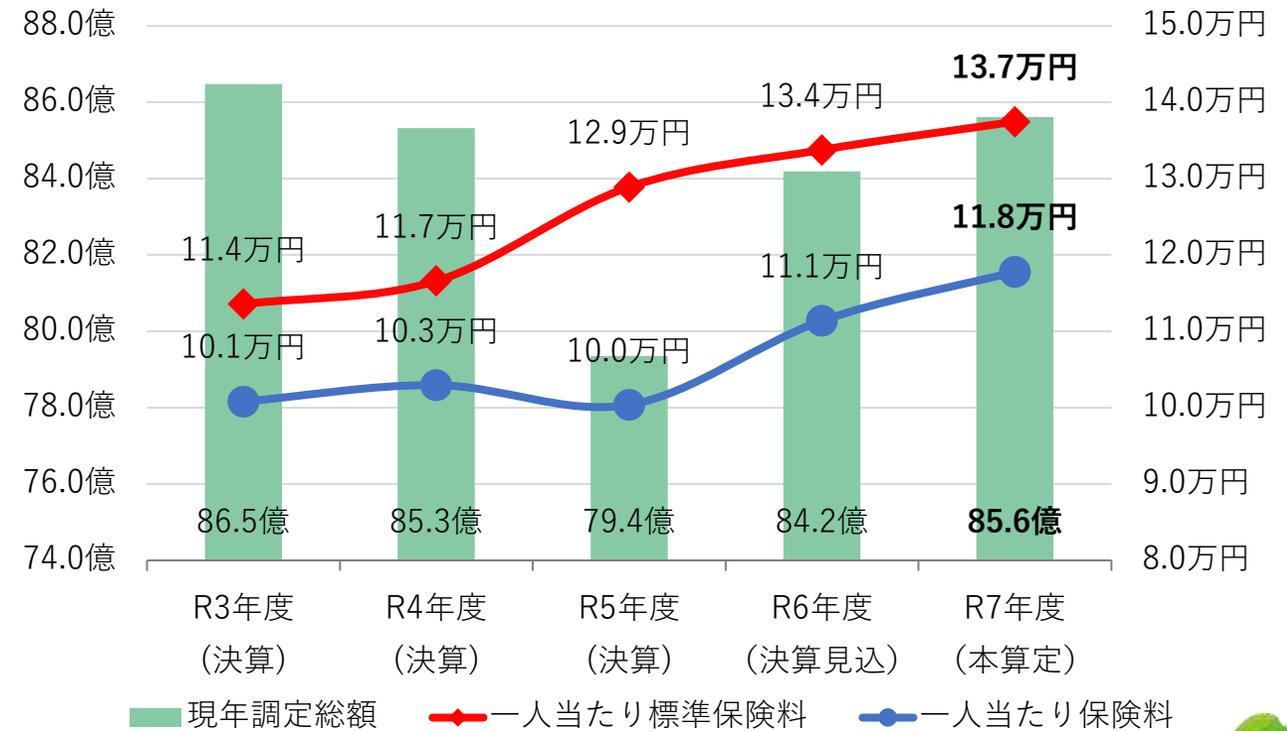


1. 一人当たり所得は、前年度比約2.4万円(1.6%)の増 (R5 : 1,464,607円 ⇒ R6 : 1,488,352円)。
2. 現年度分保険料調定額は、予算比30百万円の増 (R7予算 : 8,531百万円 ⇒ R7本算定 : 8,561百万円)。
3. 標準保険料との乖離は、令和6年度決算見込と比較して2,733円改善。
4. 保険料改定により、見込みどおり乖離幅が約2万円に縮小 (R7予算の見込額 : 20,041円 (本算定との差 : 398円))。

所得割賦課対象者一人当たりの所得推移(本算定時)



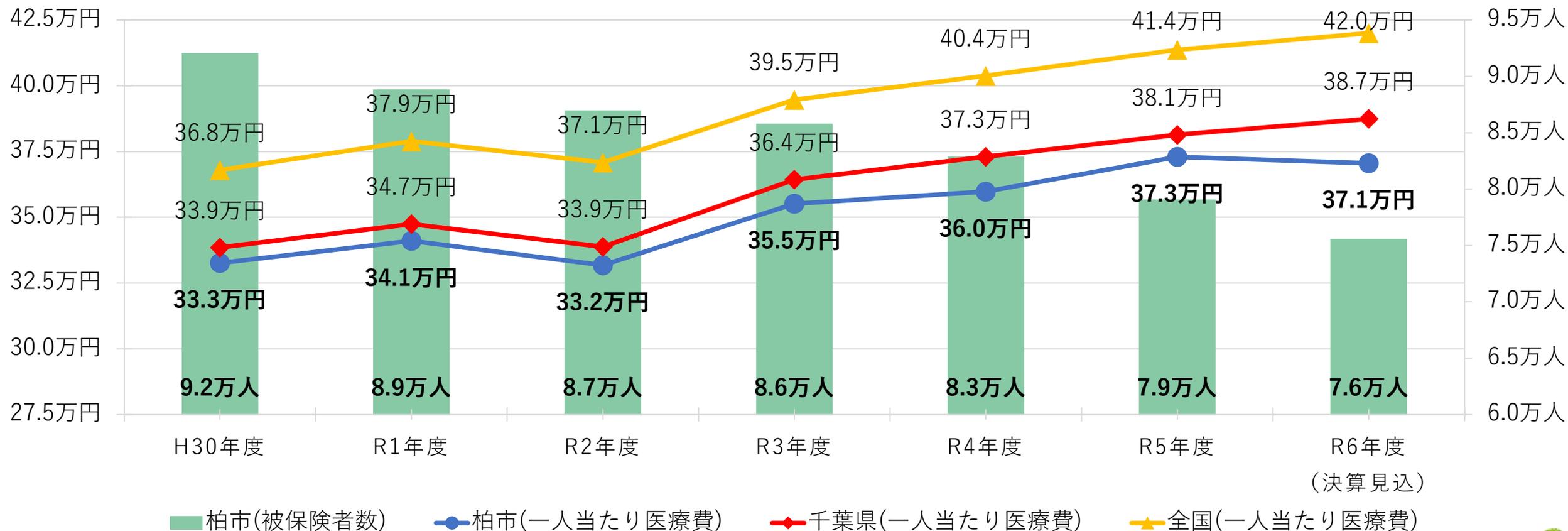
保険料調定額・一人当たり保険料等の推移



2-② 国保における医療費の動向



1. 令和6年度の全国の医療費（速報）は、9.5兆円（前年度比▲3.1%）で3年連続の減少。
2. 国・県の一人当たり医療費は、高齢化や医療の高度化などを背景に増加が続いている（H30年度比で約5.2万円増）。
3. 医療費の増加は国保事業費納付金の増額要因であるため、一人当たり医療費の増加は保険料の増額へと繋がる。



2-③ 保険料率の推移



区分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
医療分	所得割 (増減)	6.04% (-0.02)	⇒	6.23% (+0.19)	⇒	⇒	⇒	6.89% (+0.66)	7.11% (+0.22)
	均等割 (増減)	24,120円 (-120円)	⇒	24,720円 (+600円)	⇒	⇒	⇒	27,180円 (+2,460円)	29,340円 (+2,160円)
	平等割 (増減)	12,240円 (据置)	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	12,720円 (+480円)	13,740円 (+1,020円)
支援分	所得割 (増減)	2.29% (据置)	⇒	2.35% (+0.06)	⇒	⇒	⇒	2.57% (+0.22)	2.64% (+0.07)
	均等割 (増減)	11,760円 (据置)	⇒	11,880円 (+120円)	⇒	⇒	⇒	13,200円 (+1,320円)	14,160円 (+960円)
介護分	所得割 (増減)	1.90% (据置)	⇒	1.97% (+0.07)	⇒	⇒	⇒	2.07% (+0.10)	2.12% (+0.05)
	均等割 (増減)	14,400円 (据置)	⇒	14,760円 (+360円)	⇒	⇒	⇒	15,000円 (+240円)	15,780円 (+780円)

2-④【参考】令和7年度の年間保険料比較（ケース1）



試算ケース1

構成：1人世帯（40代1人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子市	24,000	25,000	266,322	315,320	12,000	0	137,445	149,440	18,100	0	72,828	90,920	54,100	25,000	476,595	555,680
千葉市	21,840	25,800	254,898	302,530	8,640	10,320	101,745	120,700	10,680	8,040	84,252	102,970	41,160	44,160	440,895	526,200
鎌ヶ谷市	18,500	21,600	282,030	322,130	11,500	0	99,246	110,740	14,900	0	62,118	77,010	44,900	21,600	443,394	509,880
柏市	29,340	13,740	253,827	296,900	14,160	0	94,248	108,400	15,780	0	75,684	91,460	59,280	13,740	423,759	496,760
松戸市	21,000	18,000	272,034	311,030	12,000	0	93,534	105,530	15,000	0	64,617	79,610	48,000	18,000	430,185	496,170
流山市	19,200	15,600	260,610	295,410	12,700	0	115,311	128,010	12,600	0	57,120	69,720	44,500	15,600	433,041	493,140
浦安市	17,400	24,400	237,762	279,560	12,000	0	92,820	104,820	16,000	0	64,260	80,260	45,400	24,400	394,842	464,640
市川市	12,000	20,400	267,750	300,150	8,800	0	67,830	76,630	13,600	0	73,185	86,780	34,400	20,400	408,765	463,560
野田市	21,900	28,800	198,135	248,830	12,900	0	100,674	113,570	12,600	0	84,252	96,850	47,400	28,800	383,061	459,250
船橋市	35,100	0	238,119	273,210	10,700	0	96,033	106,730	11,500	0	53,193	64,690	57,300	0	387,345	444,630
平均	22,028	19,334	253,149	294,507	11,540	1,032	99,889	112,457	14,076	804	69,151	84,027	47,644	21,170	422,188	490,991

※総合計の額を降順で整理した。

2-⑤【参考】令和7年度の年間保険料比較（ケース2）



試算ケース2

構成：2人世帯（40代2人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子市	48,000	25,000	266,322	339,320	24,000	0	137,445	161,440	36,200	0	72,828	109,020	108,200	25,000	476,595	609,780
千葉市	43,680	25,800	254,898	324,370	17,280	10,320	101,745	129,340	21,360	8,040	84,252	113,650	82,320	44,160	440,895	567,360
柏市	58,680	13,740	253,827	326,240	28,320	0	94,248	122,560	31,560	0	75,684	107,240	118,560	13,740	423,759	556,040
鎌ヶ谷市	37,000	21,600	282,030	340,630	23,000	0	99,246	122,240	29,800	0	62,118	91,910	89,800	21,600	443,394	554,780
松戸市	42,000	18,000	272,034	332,030	24,000	0	93,534	117,530	30,000	0	64,617	94,610	96,000	18,000	430,185	544,170
流山市	38,400	15,600	260,610	314,610	25,400	0	115,311	140,710	25,200	0	57,120	82,320	89,000	15,600	433,041	537,640
浦安市	34,800	24,400	237,762	296,960	24,000	0	92,820	116,820	32,000	0	64,260	96,260	90,800	24,400	394,842	510,040
野田市	43,800	28,800	198,135	270,730	25,800	0	100,674	126,470	25,200	0	84,252	109,450	94,800	28,800	383,061	506,650
船橋市	70,200	0	238,119	308,310	21,400	0	96,033	117,430	23,000	0	53,193	76,190	114,600	0	387,345	501,930
市川市	24,000	20,400	267,750	312,150	17,600	0	67,830	85,430	27,200	0	73,185	100,380	68,800	20,400	408,765	497,960
平均	44,056	19,334	253,149	316,535	23,080	1,032	99,889	123,997	28,152	804	69,151	98,103	95,288	21,170	422,188	538,635

※総合計の額を降順で整理した。

2-⑥ 【参考】令和7年度の年間保険料比較（ケース3）



試算ケース3

構成：4人世帯（40代2人，就学児2人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子市	96,000	25,000	266,322	387,320	48,000	0	137,445	185,440	36,200	0	72,828	109,020	180,200	25,000	476,595	681,780
柏市	117,360	13,740	253,827	384,920	56,640	0	94,248	150,880	31,560	0	75,684	107,240	205,560	13,740	423,759	643,040
千葉市	87,360	25,800	254,898	368,050	34,560	10,320	101,745	146,620	21,360	8,040	84,252	113,650	143,280	44,160	440,895	628,320
鎌ヶ谷市	74,000	21,600	282,030	377,630	46,000	0	99,246	145,240	29,800	0	62,118	91,910	149,800	21,600	443,394	614,780
松戸市	84,000	18,000	272,034	374,030	48,000	0	93,534	141,530	30,000	0	64,617	94,610	162,000	18,000	430,185	610,170
流山市	76,800	15,600	260,610	353,010	50,800	0	115,311	166,110	25,200	0	57,120	82,320	152,800	15,600	433,041	601,440
船橋市	140,400	0	238,119	378,510	42,800	0	96,033	138,830	23,000	0	53,193	76,190	206,200	0	387,345	593,530
野田市	87,600	28,800	198,135	314,530	51,600	0	100,674	152,270	25,200	0	84,252	109,450	164,400	28,800	383,061	576,250
浦安市	69,600	24,400	237,762	331,760	48,000	0	92,820	140,820	32,000	0	64,260	96,260	149,600	24,400	394,842	568,840
市川市	48,000	20,400	267,750	336,150	35,200	0	67,830	103,030	27,200	0	73,185	100,380	110,400	20,400	408,765	539,560
平均	88,112	19,334	253,149	360,591	46,160	1,032	99,889	147,077	28,152	804	69,151	98,103	162,424	21,170	422,188	605,771

※総合計の額を降順で整理した。





3 粗い将来推計（更新）

- 3－① 粗い将来推計の概要
- 3－② 粗い将来推計(旧推計)（保険料毎年7,500円改定）
- 3－③ 粗い将来推計(新推計)（保険料毎年7,500円改定）

3-① 粗い将来推計の概要



1. 前回(R7予算編成時)の推計からの変更点

① 被保者数見込の更新

右肩下がり是不変だが、団塊の世代の後期移行のピークが終わり、被保険者の減少率が緩やかになった。

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
更新前	75,472人	72,683人	70,403人	68,476人	66,967人	65,811人	64,875人
更新後	75,593人	72,532人	70,266人	68,518人	67,153人	66,194人	65,383人
差引	121人	▲ 151人	▲ 137人	42人	186人	383人	508人

② 実質赤字見込額の更新

①の更新に伴う加入者数見込の微増等に伴い、実質赤字見込も微増した。

年度	R8	R9	R10	R11	R12
更新前	1,115,576千円	840,781千円	628,931千円	354,459千円	67,745千円
更新後	1,118,432千円	851,335千円	645,788千円	376,859千円	93,918千円
差引	2,856千円	10,554千円	16,857千円	22,400千円	26,173千円

2. 推計の基本的な諸条件（変更なし）

《被保険者数》

- ✓ 被保険者数は〔n年度の推計人口〕×〔国保加入率の推計値〕により算出
- ✓ 将来における定年延長及び社保適用拡大の影響は考慮していない

《標準保険料》

- ✓ 令和5年度から令和7年度までは確定値を使用
- ✓ 令和8年度以降の標準保険料は以下により算出
 - ①納付金について、令和元年、令和2年、令和6年及び令和7年における医療分・支援分・介護分の前年からの伸び率の平均値（支援分のみ、「後期高齢者1人当たりの保険料」と「現役世代1人当たりの後期高齢者支援金」の伸び率を同じとする）との制度改正を受け、算出した「平均値」に調整率を乗じている）を用いて、R7年度以降の納付金を推計したうえで、医療費水準(αの値の変動)を反映させ、
 - ②R7年度の標準保険料に推計した納付金の伸び率を乗じたうえで、被保数の減少率を除して算出した。

《1人当たりの赤字額》

- ✓ 令和5年度から令和7年度までは実質赤字を被保数で除したものの
- ✓ 令和8年度以降は以下の式により算出
〔標準保険料との乖離(1)〕 - 〔3,402円※R5年度予算の一人当たりの標準保険料との乖離額から一人当たりの赤字額を引いた額〕

《その他》

- ✓ 所得の伸びは正確な予測が困難であり考慮していない

3-② 粗い将来推計(旧推計) (保険料毎年7,500円改定)



項目	単位	R5 (予算)	R5 (決算)	R6 (予算)	R6 (決算見込)	R7 (予算・案)	R8 (推計)	R9 (推計)	R10 (推計)	R11 (推計)	R12 (推計)
(A) 被保数	人	79,663	79,076	75,472	75,606	72,683	70,403	68,476	66,967	65,811	64,875
(B) 納付金額	千円	11,463,924	11,463,924	11,175,848	11,175,848	11,046,778	10,954,195	10,907,253	10,920,104	10,986,378	11,087,273
(C) 1人当たり納付金額[=(B)÷(A)] (医療費水準反映前)	円			148,079	147,817	151,986	155,593	159,286	163,067	166,938	170,902
(B') 納付金額 (B') ※医療費水準の異動を反映	—			1	1	1.0000	1.0032	1.0030	1.0029	1.0028	1.0000
(C') 1人当たり納付金額[=(C)×(B')] (医療費水準反映後)	円	143,905	144,973	148,079	147,817	151,986	156,085	159,771	163,545	167,409	170,902
(D) 標準保険料 (こども支援金除く) [=前年数値×(C')の伸び率]	円	128,884	128,884	133,745	133,745	137,434	141,141	144,473	147,887	151,381	154,539
(E) 標準保険料 (こども支援金分)	円	0	0	0	0	0	3,000	3,600	4,800	4,800	4,800
(F) 標準保険料 [=(D)+(E)]	円	128,884	128,884	133,745	133,745	137,434	144,141	148,073	152,687	156,181	159,339
(G) 1人当たり保険料	円	101,745	100,350	101,390	101,390	109,893	117,393	124,893	132,393	139,893	147,393
(H) 値上げ額	円	0	0	8,503	0	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
(G') 値上げ後の1人当たり保険料額 [=(G)+(H)]	円	101,745	100,350	109,893	112,258	117,393	124,893	132,393	139,893	147,393	154,893
(I) 標準保険料との乖離 [=(F)-(G')]	円	27,139	28,534	23,852	21,487	20,041	19,248	15,680	12,794	8,788	4,446
(J) 1人当たり赤字額 [=(I)-3,402円]	円	23,737	22,719	20,302	13,967	14,275	15,846	12,278	9,392	5,386	1,044
(L) 実質赤字 [=(A)×(J)]	千円	1,890,986	1,796,555	1,532,213	1,056,000	1,037,537	1,115,576	840,781	628,931	354,459	67,745
年度当初基金残高 (予算編成時の使用可能残高)	千円	1,890,985	1,890,985	2,068,272	2,068,272	1,037,537	1,115,576	840,781	628,931	354,459	67,745
前年度決算余剰金積立額	千円	0	68,272	108,297	108,297	438,000	0	0	0	0	0
一般財源による基金積立額 ※翌年度の実質赤字額と同額	千円	0	2,000,000	0	314,968	677,576	840,781	628,931	354,459	67,745	

※ 黄色で反転させている部分 (一般財源投入額) の7年合計額は、4,884,460千円 (1年平均 697,780千円)

※ 黄色で反転させている部分の当初4年合計額は、3,833,325千円 (1年平均 958,331千円)

3-③ 粗い将来推計(更新後) (保険料毎年7,500円改定)



項目		単位	R5決算	R6予算	R6決算 (見込)	R7予算 (更新後)	R8 (推計)	R9 (推計)	R10 (推計)	R11 (推計)	R12 (推計)
(A)	被保数	人	79,076	75,472	75,593	72,532	70,266	68,518	67,153	66,194	65,383
(B)	納付金額	千円	11,463,924	11,175,848	11,175,848	11,046,778	10,961,192	10,947,755	10,989,928	11,095,794	11,225,771
(C')	一人当たり納付金額 =(B)/(A)×医療費水準の異動値	円	—	148,079	147,842	152,302	156,489	160,266	164,135	168,098	171,692
(D)	標準保険料(子ども支援金除く) =前年度(D)×(C')の伸び率	円	128,884	133,745	133,745	137,434	141,212	144,620	148,112	151,688	154,931
(E)	標準保険料(子ども支援金分)	円	0	0	0	0	3,000	3,600	4,800	4,800	4,800
(F)	標準保険料=(D)+(E)	円	128,884	133,745	133,745	137,434	144,212	148,220	152,912	156,488	159,731
(G)	一人当たり保険料	円	100,350	101,390	100,350	109,893	117,393	124,893	132,393	139,893	147,393
(H)	値上げ額	円	0	8,503	11,019	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
(G')	値上げ後の一人当たり保険料額=(G)+(H)	円	100,350	109,893	111,369	117,393	124,893	132,393	139,893	147,393	154,893
(I)	標準保険料との乖離=(F)-(G')	円	28,534	23,852	22,376	20,041	19,319	15,827	13,019	9,095	4,838
(J)	一人当たり赤字額=(I)-3,402円 ※R8以降	円	22,719	20,302	12,848	14,305	15,917	12,425	9,617	5,693	1,436
(L)	実質赤字=(A)×(J) ※R8以降	千円	1,796,555	1,532,213	971,211	1,037,537	1,118,432	851,335	645,788	376,859	93,918
(N)	年度当初基金残高	千円	1,890,986	2,068,273	2,068,273	1,772,050	1,370,622	902,190	650,855	405,067	93,918
(M)	前年度決算余剰金積立額	千円	68,272	0	108,297	36,109	0	0	0	0	0
(O)	一般財源による基金積立額	千円	2,000,000	0	600,000	600,000	650,000	600,000	400,000	65,710	
(P)	基金取り崩し額	千円	1,890,985	1,532,212	1,004,520	1,037,537	1,118,432	851,335	645,788	376,859	93,918
(Q)	期末残高=(N)+(M)+(O)-(P)	千円	2,068,273	536,061	1,772,050	1,370,622	902,190	650,855	405,067	93,918	(0)

※黄色で反転させている部分(一般財源投入額)の全期7年(R5~11)合計額は、4,915,710千円(一年平均:702,244千円)

※旧推計(約48.8億円)からの増減は、+31,250千円(一年平均:+4,464千円)



4 子ども・子育て支援金制度

4-① 子ども・子育て支援金制度の概要

4-② 子ども・子育て支援金分の賦課に向けて

4-① 子ども・子育て支援金制度の概要



1. 子ども・子育て支援金制度とは

- ① 「こども未来戦略」(令和5年12月22日閣議決定)の「加速化プラン」において、子ども・子育て政策の拡充が図られることとなり、この施策に必要な費用を賄うため、「子ども・子育て支援金制度」が創設された。
- ② 各保険者は、現状の保険料と合わせて「子ども・子育て支援金」を徴収し、納付金として国(支払基金)に納付することとなった。
- ③ 支援納付金の総額のうち、被保険者又は事業主が全体として負担する額の目安は、令和8年度約6,000億円、令和9年度約8,000億円、令和10年度約1兆円規模が予定されている。

こども未来戦略<加速化プラン>に基づく給付等の拡充

- ✓ 児童手当の抜本的拡充
- ✓ 乳児等のための支援給付(こども誰でも通園制度)の創設
- ✓ 出生後休業支援給付(育休給付率を手取り10割相当に) など

子ども・子育て支援特別会計(こども家庭庁・厚生労働省)

子ども・子育て支援納付金(医療保険の賦課・徴収ルートを活用)

被用者保険

国民健康保険

後期高齢者
医療制度

2. 国民健康保険の保険料構成(R8年度～)

- ① 現状、国民健康保険料は、次の3区分から構成されている。
 - 医療分：医療費の財源
 - 後期高齢者支援金分：後期高齢者医療制度を支えるための財源
 - 介護分：介護保険制度を支えるための財源
 ※40～65歳未満の介護保険第2号被保険者の方のみ
- ② これらに加えて、令和8年度から新たに「子ども・子育て支援納付金分」の賦課・徴収を開始することとなる。
- ③ 子ども・子育て支援納付金分は、法の規定により、18歳以下の均等割は10割軽減される。

令和8年度以降の保険料の構成

これまでの保険料の構成

医療分

後期高齢者
支援金分

介護分

+

子ども・子育て支援金分

4-② 子ども・子育て支援金分の賦課に向けて



1. 子ども・子育て支援金制度の賦課方式（案）

支援金は、本制度が少子化対策に係るものであることに鑑み、子どもがいる世帯の拠出額が増えないよう、18歳に達する日以後の最初の3月31日以前までの子どもに係る支援金の均等割額に10割軽減の措置が講じられる。

以上から、18歳以下を含む世帯に対して賦課する平等割は馴染まないため、所得割と均等割（18歳以下は10割軽減）を賦課する2方式が制度理念に沿うものと整理できる。

子ども・子育て支援金制度の賦課方式は
2方式とする方向で進めていきたい
※県内一律で2方式になる見込み

2. 実施に向けたスケジュール

令和7年9月～

令和7年10月～

令和8年3月

令和8年4月1日～

国・千葉県

- 参考例の発出
- 関係政令等の改正
- 納付金の仮算定・本算定提示
- 標準保険料率の仮算定・本算定の提示など

柏市

- 条例改正案の策定
- 令和8年度当初予算案の編成
- 国保運営協議会への諮問・答申

柏市（市議会）

- **令和8年第1回定例会に上程**
 - 条例改正案
 - 令和8年度当初予算案

- 4月：制度開始
- 6月：当初納入通知書 発送

